

令和5年度 第4回社会教育委員会議 会議録

開催日時	令和5年12月14日 木曜日 13時30分から15時15分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1
出席者	森英夫教育長、蓮實茂夫委員長、久保田秀実副委員長、 関口金由紀委員、橋本由恵委員、山内みどり委員、中西美保委員、 三宅栄子委員
欠席者	稲葉通隆委員
事務局	椎野教育部長、山下生涯学習課長、加藤生涯学習班長、 竹本副主幹、二見主任主事
その他	傍聴者0名

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

(1) 社会教育関係団体の補助金について

(委 員)

補助金の支出にあたり、どのように審査を行っているのか。

(事務局)

申請書に基づいて、対象経費の確認等を行っている。

(委 員)

青少年指導員連絡協議会の活動は、今後どのようにしていくのか。

(事務局)

バモスライブは好評であり継続していく。青少年指導員の在り方については、SNSの普及等により、青少年の状況が昔と異なってきている中でどのように関わっていくかを、今後、1年間から2年間をかけて研究していく。

(委 員)

資料の一覧に記載されている社会教育団体は毎年同じであるが、ここに新たな団体が加わることは可能なのか。

(事務局)

現在の団体補助金の対象は、昔から町全体を対象とした公益性の高い事業を担っている団体である。地域生涯学習振興事業補助金は、複数の地区が連携して実施する生涯学習事業に対して補助を行う仕組みであり、実施主体である団体が新たな対象となる。

また、生涯学習分野以外の活動に対しても町民活動推進補助金等、様々な補助制度がある。

公益性が高い団体については、町としても場所の提供など、様々な支援を行うことが考えられるが、単独で新しい補助金制度を作ることは難しい。

(委員)

今後、新たな団体からの申請が出てきた場合はどうするのか。

(事務局)

そのような場合については、事前に相談をお願いしたい。

(委員)

子ども会については、子ども会育成会連絡協議会から抜けている地区が出てきている。そういった地区は、以前と実施している内容は変わらないが、町からの補助金はない状態である。このような子ども会が新たに補助金を申請できるものなのか。

(事務局)

そういった状況があることは認識している。子ども会の野外研修は、子ども会に入っていなかったとしても参加できる。子ども会育成会連絡協議会に対しては、町全体の子どもたちを対象としたイベントの企画をお願いしているが、今後、検討していく必要があると考えている。

(委員)

子ども会育成会連絡協議会は、社会教育団体として認められているため補助金を受けている形になっているが、協議会から抜ける地区の子ども会が出始めていることを考えると、団体ありきではなく、活動を応援するためにはどうすべきかを検討することも必要になってくると思う。

(委員)

二宮町ジュニアリーダー養成研修会補助金について、現状はバモスライブの開催にあてられているようだが、ジュニアリーダー養成研修会という補助

金の名前はそぐわないのではないか。現在、ジュニアリーダーは人数が減っており、研修会があまり行われず、費用もかかっていないようであれば、補助金の名称を今のかたちに合ったものにするのが適切と感じる。

また、例年、補助金に関する議題の中で、資料には団体の収支が記載されているが、補助金との関連性が見えにくい。団体の収支よりも補助金がどのような活動に充てられているのかを明確にした方が良い。

(事務局)

ジュニアリーダー養成研修会補助金は青少年指導員への補助金である。以前は、ジュニアリーダーの養成研修に用いられていたが、現在は青少年の発表の場であるバモスライブに活動が移ってきている。名称については、今の実態に合う形に変更できるかを検討する。

資料を作るにあたっては、それぞれの要綱にある補助対象経費を並べて、それぞれに充てられている金額がわかるようにできればと思う。

(2) 教育委員会表彰について (非公開)

(3) 生涯学習センターリニューアル基本設計について (非公開)

(4) その他

- ①令和6年二宮町20歳のつどいについて
- ②令和5年度人権教育研修会について

4. 閉 会